

校内研修計画

山梨市立山梨小学校

1 学校課題

本校の児童は、全体的に明るく素直で、何事も前向きに取り組むことができる雰囲気がある。

昨年度の全国学力学習状況調査においては、国語Aで全国の平均正答率と同等の結果であったが、国語B、算数ABはそれを下回る結果であった。領域や観点別に見ると、「言語についての知識理解」や「数量や図形の技能」等の基礎的内容については、概ね良いと考えられるが、「読むこと」や「数学的な考え方」等では、全国の平均正答率より下回る結果となっている。全国学力学習状況調査児童質問紙では、児童の学習・生活状況や児童の意欲について、ほぼ全ての項目で全国とほぼ同じ傾向であった。家庭学習をみると、宿題や予習や復習等に取り組む児童の割合が多くなってきているが、ほぼやらない・全くやらない児童の割合が全国より高く、個人差があることが分かる。よりよい学習習慣の形成と確かな学力の定着・向上に向けて努力を続ける必要がある。

2 研究主題

確かな学力の定着・向上を目指した指導の工夫 ～対話的な学びを取り入れた授業の工夫～

3 主題設定の理由

新しい学習指導要領では、「豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される児童に、生きる力を育むことを目指す」とし、「主体的・対話的な深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開するなかで、児童に生きる力を育むことを目指すものとする」としている。現行の学習指導要領と同様に、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成、学ぶ意欲をバランス良く育成するが、「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら、知識理解の質を高め、確かな学力を育成することをねらいとしている。

本校では、確かな学力に目を向けた研究に取り組んできており、平成26年度からは、山梨市学力向上推進委員会の考えを元に、筋道をたてて考える力、記述して説明する力、判断する力を身につけるための手だてとして活用学習に取り組んできた。さらに、これまでの活用学習と学級力向上をもとにした言語活動の研究に加えて、平成29年度からは「やまなしスタンダード」に焦点をあて、子供たちの実態を基にした基礎学力の確実な定着を図った授業づくり・授業改善を進め、児童の確かな学力の定着・向上を目指し研究を進めてきた。昨年度は、「やまなしスタンダード」の視点を明確にするとともに、家庭学習の定着のために「自主学習ノート」や「家庭学習チェック表」にも全校で取り組んだ。

本年度は、それらを継続しつつ、授業の質的向上をはかるために、「対話的な学び」に視点をあてた授業改善による確かな学力の育成目指していきたい。

また、今年度、来年度の2カ年にわたり、山梨県金融広報委員会より、「金銭教育研究校」を委託された。金融教育は、お金や金融の様々な働きを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育である。金融教育に取り組むことは、本校の研究主題にある、「確かな学力」の主体的に取り組む態度や思考力・判断力・表現力を育成することにつながると考えられる。

4 研究の具体的内容と方法

1) 授業づくりの研究

R・P・D・C・Aサイクルの確立

- ①児童の実態把握
- ②課題解決に向けた取り組み
 - ・ 確実な学力の定着を図るための授業実践
 - ・ 課題に対する改善プランの作成と授業研究
 - ・ 「やまなしスタンダード」による授業改善
- ③講師を招聘しての学習会
- ④金融教育の教育課程作成

2) 学習環境・基盤づくり

- ①Q-Uを活用した学習集団づくり
- ②学習の決まりの活用と定着
- ③主体的な家庭学習の定着を図る
 - ・ 「家庭学習の手引き」の活用
 - ・ 「自主学習ノート」の取り組み
 - ・ 保護者への啓発
 - ・ 家庭学習チェック表の取り組み

5 年間研修計画

校内研修計画

研究主任 渡邊 満智子

テーマ	研究内容	教科	担当	学年	時期	TC要請
確かな学力の定着・向上を目指した指導の工夫	研究主題・仮説・内容・方法・計画等		研究主任		4月	
	研究計画・研究組織・授業研究について		研究主任		4月	
	学習規律 家庭学習の取り組み		研究主任		5月	
	児童の実態把握 NRT分析 ブロックの研究		各学年 ブロック長		5月	
	学習会「金融教育」		研究主任		6月	
	学習会「特別な配慮が必要な児童の理解」		コーディネーター		7月	
	教育課程環流学習会 学習会「道徳の授業と評価」 各ブロックの研究		研究主任 道徳主任 ブロック長		8月	○
	全国学力学習状況調査結果考察と今後の指導 各ブロックの研究		教務主任 ブロック長		9月	
	各ブロックの研究 授業案作成		ブロック長 授業者		10月	
	授業案検討①		ブロック長 授業者		10月	
	授業研究会①	特別活動 か 道徳	研究主任 ブロック長 授業者	1年	10月	○
	授業案検討②		ブロック長 授業者		10月	
	授業研究会②	総合 か 家庭科	ブロック長 授業者	5年	10月	○
	各ブロックの研究 研究授業のまとめ 金銭教育の年間計画検討		授業者 ブロック長,		11月	
ブロックの研究のまとめ 研究のまとめ研究紀要作成について				1月		
研究のまとめと次年度の方向性 金融教育に関わる児童実態調査について		研究主任		2月		